

小平市の基本理念

はぐくみ・支え合い 学びでつながる
小平の人・まち・未来

小平市の教育目標

～自立 小平で基礎を培う～
～共生 小平で共に成長する～
～貢献 市民が小平を育てる～



【教育目標】

知性、感性、道徳心や体力を育み、生涯を通じて主体的に学び、社会に貢献できる人間性豊かな生徒の育成を目指して、次の目標を定める。

- 自ら考え、進んで実行する人
- 心豊かで思いやりのある人
- 心身ともにたくましい人



特色ある教育の推進

- (1) 市研究推進校としてGIGAスクール構想の推進
- (2) 個に応じた支援の充実
- (3) 小・中連携教育の推進
- (4) オリ・パラ教育の推進
- (5) 道徳教育の推進
- (6) 学習教室の充実

学校経営基本方針

「自立し、心豊かに、たくましく生きる上水中生」の育成を目指し、次に焦点を当て、教育活動を展開する。

(1) 自ら律する態度・能力の育成 - 基本的な生活習慣を大切にし、社会のルールやマナー、規範意識を身に付けさせる。 - 学校で決められた規則や約束事を守り、学校生活を楽しくしようと努力させる。	(2) 共に生きる態度・能力の育成 - 自他共に大切にできる思いやりの心や相手の立場に立って行動できる態度を身に付けさせる。 - 一人一人が自己肯定感を高め、これからの社会を築く一員として必要な協働的な態度を身に付けさせる。	(3) 視野を広める態度・能力の育成 - 自ら進んで学ぶとともに、委員会や係活動等で責任を果たす態度を養う。 - 学習習慣（宿題、復習の習慣化等）を身に付けさせ、家庭学習の大切さを分からせる。
--	---	---

学校教育目標とその実現に向けての取組

「自ら考え、進んで実行する人」の実現を目指して

- ・分かる授業・授業改善
- ・「活用」段階を設定した授業づくり
- ・根拠を明確にした考え・意見
- ・宿題、課題、自主学習の重視
- ・『Daily Life』活用
授業準備、学習蓄積（生徒理解）
- ・見通しをもたせる工夫
- ・生徒の意欲を引き出す委員会活動や実行委員会の指導と工夫

「心豊かで思いやりのある人」の実現を目指して

- ・自他のよさを認め合い、居場所のある学級づくり
- ・違いを認める関係づくり
- ・意見交流のある授業、学級通信
- ・毎日全員と話す学級担任
- ・いじめの芽発見と早期解決
- ・ボランティア活動、地域行事参加
- ・コミュニケーション重視
（直接対話で悩みや問題を解決）

「心身ともにたくましい人」の実現を目指して

- ・新体力テスト結果の活用
課題改善を図る運動の日常化
- ・基本的生活習慣の徹底
（快食、快眠、快便、挨拶）
- ・SNS上水中ルール等の徹底
- ・二者面談等で積極的な生徒理解
- ・「失敗」を生かす指導

「特色ある教育の推進」のために

- ・GIGA端末の活用の促進
- ・SCやSSWを活用した校内支援の充実
- ・特別支援教育をテーマとした小・中連携の推進
- ・オリ・パラ競技の観戦実施
- ・考え、議論する道徳の充実
- ・学校支援・学生ボランティア、地域人材を活用した放課後学習教室の充実

【組織力を向上させるために】 ※主幹教諭・主任教諭は、常に育成の視点をもつ

- 教育者として生徒や保護者との確かな信頼関係を築くため、一人一人が自分の言動に責任をもち、生徒のために職務を遂行する。
- 全教職員がライフ・ワーク・バランスを推進する。 ○若手教員にも段階的に仕事を任せ、その進行を管理し、学校全体の力量を高める。
- 上水中学校が所有する人、もの、予算を有効かつ確実に活用する。 ○学校が発出する文書について、確実な起案と適正管理を行う。
- 生徒を指導する教師自身が学ぶ姿勢をもち（若手も若手を育成する心構えで）、研修したことを実践し、その成果を生徒と学校のために還元する。